



ナチュラルカラー ジオグラフィ G0801

NATURAL COLOR GEOGRAPHY

発行：株式会社ソフィックス研究所 www.sofics.co.jp

ナチュラルカラーリスト国際本部 日本ナチュラルカラーリストスクール本部

日本の北方ルネッサンス

ナチュラルカラーリスト仙台校のエコアート旋風！

着物染色、フラワーボードで受賞者続出



モチーフ：ワレモコウ



宮城県知事賞

国井慶子さん(宮城県)

ナチュラルカラーリスト・仙台校

第16回河北工芸展着物の染色

エコアート21を主宰する松橋ヒデ子先生は、ナチュラルカラーリストスクール仙台校としても数多くのナチュラルカラーリストを養成しています。今、その人達が受賞旋風を巻き起こしている。東北最大の工芸美術展・河北工芸展の着物の染色部門で国井啓子さんが宮城知事賞したのをはじめ、フラワーボードで6名が入選。また、日本フラワーデザイン大賞コラージュ部門でも受賞者を出しています。その作品について松橋先生に語ってもらいました。

国井さんはこの6年間、入選はするものの、いつも「もう少し色を工夫されたし」の評ばかりで、これを何とかしなければということで、昨年、ナチュラルカラーリストを学びました。フィールドワーク中に、ワレモコウの色がすっかり気に入って、「よし、次の作品はこれでいこう」と、その時点で決めていたそうです。その結果、

今回は「色彩がすばらしい」と評価されての受賞となりました。ただ色を見るだけでなく、何かに応用し、学んだことを実証した結果の勝利だったと思います。

フラワーボード入選作品・河北工芸展



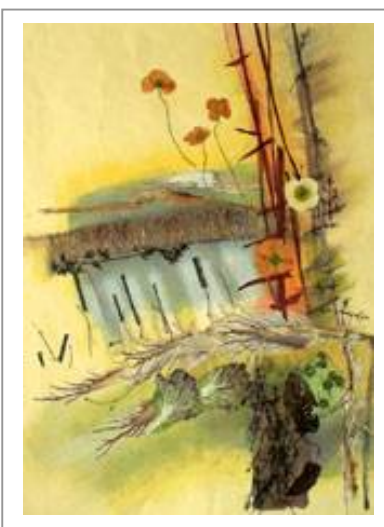
風に乗って
古口陽子（福島県）



日に映えて
児島妙子（福島県）



回 想
松橋ヒデ子（岩手県）



再生へのプロローグ
山田福子（青森）



飛び立つ
石岡伸子（青森）



永遠の瞬間
田代一美（岩手県）

特に田代一実さん（岩手県）の作品（1枚だけ縦長のものです）は、花らしきものはバラ一輪のみ、画面にメリハリをつけるため、白く残した部分はエアロの白、そこにソルの黄、緑、ポイントははっきりとしたソル、オレンジでバラを彩色し、パンチを効かせています。軽やかで印象的な作品と高い評価をいただきました。どの作品も、ソル、エアロ、アクアの領域を認識し、色構成をしています。

入選はしましたが、まだ自然色彩学を学んでいなかった古口さんは、これを機会にナチュラルカラーリストの自然色彩学に挑戦するところです。

日本フラワーデザイン大賞フローラルコラージュ部門

■ 2006年度

きべゆみこさん（群馬県）・・・1位受賞。東京都知事賞受賞。

麦を使った幾何学的な構成で、赤、黄、緑、茶すべての色をソルカラーで統一したものです。この作品は東京都知事賞も併せて受賞しました。

この作品も含め以下にご紹介する受賞作品は、次のホームページに写真が掲載されていますので是非ご覧ねがいます。

・エコアート21ホームページ <http://www.ecoart21.com>

トップページの写真をクリックして開いたページの左メニューから「最新作品」をクリックすると最新の作品がご覧いただけるようになっています。

田代一実さん（青森県）・・・黒川紀章賞受賞

審査員特別賞・黒川紀章賞に輝いた田代一実さん（青森県）の作品は、全作品の中で「これが一番だ」とまで黒川氏に言っていたもので、「再生の地図」と題したコラージュでした。部屋の隅に転がっていた乾いた白菜は色が褪せていましたが、再生を意味する色をナチュラルカラーリストリングのエアロの緑で彩色しました。これまでの絵具ではいろいろ混色してもなかなかこの色は出なかったものなので、リングのエアロの緑はとてめありがたいものです。

■ 2007年度

丸山春江さん（新潟県）

今年（2007年）、同じ部門で奨励賞の丸山春江さん（新潟県）は、さざんかの葉を縦にカットし、それを並べた作品です。背景は古びた壁をイメージし、やはりソルカラーで構成しています。

伊藤清子さん（青森県）

日本フラワーデザイン大賞 2007 宝箱部門 3位

バラのトゲと花びらだけで制作したい、ということで、花びらを彩色。「気分が悪くなるような色になってしまって・・・」どうしたらいいかわからない、と、ソルとアクアが交互に並べられた作品をもってきました。啞然！！

丁度、その後から色彩学を学びはじめましたので、たった1回のレクチャーで、この意味がわかったようです。その後、すっかり色彩には、統一感が生まれ、形もそれに乗じてスッキリとまとめられ、受賞となりました。コンクールに間に合っ
てよかった！！と感謝することしきり。

編集者より：

エコアート21では、自然と共生の精神に基づいたエコロジカルアートを提唱しておられます。エコロジカルアートは人が捨ててしまうモノにも美を見つけアートにする哲学があります。自然の循環にはゴミになるものはありません。この哲学の表現にナチュラルカラーリストの自然色彩プログラムを活かして自然の生命の息づかいを感じる作品となっています。自然の生命の営みは色によって姿が現れ、その色は生命の掟の中で生まれます。だから生命の美を表現するには自然の色の文法に則って描く以外にありません。自然の色の文法をひも解くことができるのがナチュラルカラーリストの色立体です。

編集者：草木雅広／ソフィックス研究所